

*FirstGlobal* メッセージ

# siesta

2017.8月号 vol.171

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### うんこ漢字ドリル

今「うんこ漢字ドリル」が売れています。皆さんは「うんこ漢字ドリル」をご存知でしょうか？小学生までのお子さんやお孫さんをお持ちの方はご存知と思います。いわゆる子どもさんが漢字を覚えるための練習ドリルですが、これまでのものと違って6学年分の全3,018例文に「うんこ」を使い、「日本一楽しい漢字ドリル」とアピール。発行部数は3月下旬の発売からすでにシリーズ累計266万部を突破したそうです。お食事中の方、すみません。学習参考書というジャンルで、うんこネタがここまでうけたのはなぜか？出版元の文響社の山本周嗣社長曰く「うんこは子どもをひきつける。好きなことから学べば、勉強が楽しくなる」とのこと。例文全てを考えたという映像ディレクターの古屋雄作さんは、「なぜかはわかりませんが、子どもの『うんこ』への関心は昔から変わらず強い。ならば「うんこが好き」、そこから学びがあってもいい。興味があるところからやってみる、という学び方がもっと広がっていいのではないか」たしかに子どもは「下ネタ」が好きです。親から「やめなさい」と言われると、なおさら食いついてきます。そのあたりの心理をうまくついた商品開発です。ただ、やはりいじめや迷惑行為につながるような例文はボツにしていたそう。製作になんと2年を掛けて作り上げたものなので、売れて当然だったのかもしれませんが、ここまで売れるとは思わなかったでしょう。もっと高学年の子、いや会社の社員も「うんこ」の理屈は同じなのかもしれません。

社員教育の必要性・重要性が叫ばれる中、「うんこ」ネタで興味を引けということではありません。しかし、研修などでも、もっと面白く楽しく興味を持たせる工夫は必要なのかもしれません。「仕事」なのだからと、緊張や真面目さを強いる学びは、もはや時代に合っていないといえるのかもしれません。今「うんこ漢字ドリル」をきっかけに勉強に興味を持った世代が、もうすぐ部下として会社に入ってくるのですから。心理や興味についてのリサーチが会社側も必要になってくるでしょうね。

## < next >

「輝け甲子園の星」という高校球児を取り上げた雑誌があるのですが、43年の歴史を閉じ、休刊となりました。運よく甲子園に出場でき、小生の顔写真が載り、今でも大事に自宅に保管しています。時代の流れとはいえ、残念ですね。